



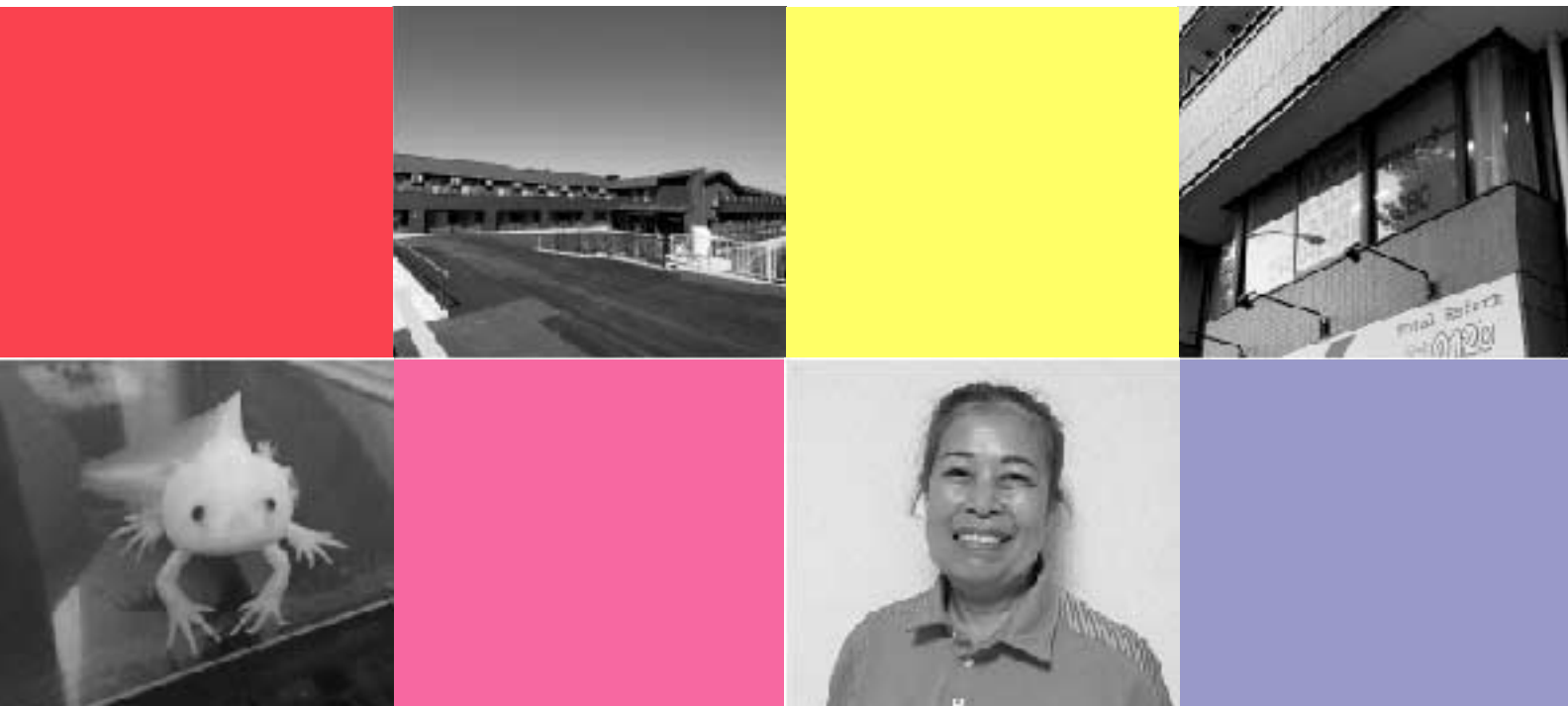
Green Days

Sep.2020 Vol.103

社会福祉法人一誠会 広報誌『グリーン・デイズ』

特集

コロナ禍でも地域との交流、レクリエーションなどを再開！ ～新型コロナウイルスの感染と生活不活発発病の予防～



一誠会で働くスタッフ募集

求める職種
・介護職員
・看護職員
・訪問介護(登録ヘルパー)

未経験者から有資格者まで、年齢層も幅広く働いています。有資格者優遇、各種資格取得支援制度もあり。

詳細は、ホームページをご覧ください
下記に、お問い合わせください！
☎042-691-2830

Event イベントスケジュール (10・11月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定

10月	運動会	デイサービス初音の杜
11月	焼いも会	デイサービス初音の杜 (認知症対応型)
	芋煮会	第二偕楽園ホーム

※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

◆地域交流会(万講座)の開催◆

日時	令和2年10月3日(土)	令和2年11月7日(土)
内容	介護アロマ パート2 ～香りに癒されながらハンドマッサージを体験しませんか～	防犯を始めよう 家庭でできる防犯対策
講師	森野ひふ美氏	八王子市生活安全部防犯課
場所	偕楽園ホーム	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来訪の皆様には検温などご協力いただくこともご了承ください。

◆地域福祉研修の開催◆

日時	令和2年11月26日(木)
内容	(仮)次期報酬改定のゆくえ
講師	東京都介護支援専門員実務研修講師・特別養護老人ホームやすらぎの家副施設長 林正氏
場所	偕楽園ホーム
時間	16時00分～17時30分

地域福祉に関心のあるすべての従事者が、地域との協働や地域へのアプローチに向けた知識やスキルを学ぶ研修です。

職員紹介～注目の人～

ここでは、一誠会の中で注目すべき職員を紹介していきます。今回は、一誠会で働くフィリピン出身の外国人介護職員をご紹介します。

偕楽園ホーム
介護職員

高野ローナ

入職して早2年半。毎日の仕事が勉強になっています。これからもご利用者の生活を支えられるように頑張ります。



偕楽園ホーム
介護職員

山田サブリナ

介護経験も豊富なベテランです。持ち前の明るさと笑顔でご利用者が元気に過ごせるように頑張ります。



社会福祉法人一誠会

http://www.kairakuenhome.or.jp/

ISO9001 認証取得



一誠会では、次のSNSでも情報を知ることができます。

◎ Facebook (フェイスブック)

◎ Twitter (ツイッター)

◎ Instagram (インスタグラム)

◎ アメーバブログ (アメブロ)

ホームページからリンクもしていますのでご覧ください。

一誠会からのお知らせ

一誠会では、介護職員を募集しています。働き方は相談に応じます。また、ボランティア活動も規模を縮小しながら、徐々に再開しております。気軽にお問い合わせ下さい。

コロナ禍でも地域との交流、レクリエーションなどを再開！ 〜新型コロナウイルスの感染と生活不活発病の予防〜

高齢者や基礎疾患のある方は、新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすいため、「密閉」「密集」「密接」、いわゆる「3密」を避けることが、感染予防には重要です。一方で、現在、外出自粛などにより「動かない」状態が続くことにより、「動けなくなる」ということが懸念されています。



進行を担当する職員にはマウスシールドを着用させ、飛沫を相手に浴びせないように配慮しています

動かないこと(生活不活発)が続くと

動かないこと(生活不活発)により、心身や脳の機能が低下し、歩行や身の回りのことなど生活活動が行いにくくなったり、疲れやすくなったりし、フレイル(高齢者が筋力や活動が低下している状態＝虚弱)が進んでいきます。

地域との交流も除々に再開

抵抗力を下げないように注意が必要です。

そこで一誠会では、8月よりこれまで自粛していた地域交流会や介護予防教室など、地域の方々との交流をはじめ、音楽療法、華道や茶道などのクラブ活動、夏まつりなどの行事をそれぞれ通常の参加人数を減らし、フィジカル・ディスタンスなどの感染予防を行いつつ再開しました。

社会福祉法人としての使命として

一誠会では、この先の見えない自粛生活の中で、ご利用者はもちろん、地域の方々に対しても、感染拡大防止に留意して、人と人の交流や社会参加に取り組みフレイル予防に努めたいと思っています。そして、このことは社会福祉法人としての使命だと思っています。

利用者の生活に潤いを

速報!

納涼祭の開催

去る、8月29日(土) 偕楽園ホームでは、納涼祭を開催しました。例年ですと、夏の地域行事として開催していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、地域の方々やご家族への案内は自粛し、ご利用者の参加のみで行いました。

偕楽園ホームにおいても、行事の開催を縮

少してきましたが、ご利用者の生活の不活発につながることを予防するために納涼祭の開催に至りました。

今後とも行事の開催にあたっては、三密を防ぎながら、消毒や換気にも気を付け、様々な感染症対策を講じつつ、ご利用者の生活を少しでも潤いのあるものにしていきたいと思っています。



カンファ水はボツリヌス菌やクロコウジカビのような強い菌まで、殆どの細菌やウイルスに有効

一誠会の強い味方『カンファ水』

一誠会では、新型コロナウイルスの感染防止のため、カンファ水と呼ばれる弱酸性次亜塩素酸ナトリウム水溶液を使用し消毒殺菌を行っています。手指消毒をはじめ、テーブルや手すりの消毒、加湿器の噴霧や食材の消毒など様々なところで使用しています。

カンファ水は強力な効果を持ちながらも安全・無害・無公害な安心して使える厚生労働省でも認められている新しい殺菌・消臭水です。



時間を区切り、密集することを防ぎながら開催しました



夏祭りにちなんだ焼きそばやたこやきなど準備して楽しんでいただきました

大和田圏域の現状から課題を見つける「地域課題ケア会議」

地域包括支援センターでは、地域における様々な課題の解決を目的とした会議を開催しています。その会議の一つ、地域課題ケア会議を去る、7月30日(木)、はじめて開催しました。

この会議は、民生委員・社協(地域推進担当・生活支援コーディネーター)の方々にも参加していただき、大和田圏域の高齢者における課題を共有し、生活支援への展開、町や団地などの福祉課題を検討することで、今後の支援のきっかけ作りにも役立てます。

今回は、会議の趣旨説明や事例をあげるなど、参加者の皆様にこの会議の理解を深める機会となり、今後も地域の困りごとを把握する場にしたいと思います。このように地域に存在をアピールして顔の見える地域包括支援センターとしてよりよい支援に努めていきたいと思っています。



地域課題ケア会議の様子。大和田市民センターで開催しました



地域の関係者が参加して、地域の課題を話し合います

Column 1

ISO9001 内部監査実施



去る、8月19日(水)から21日(金)に一誠会では、ISO9001の規格要求事項に基づき、偕楽園ホーム、初音の社、第二偕楽園ホームなどの21部署において内部監査を行い、各部署の運用状況を点検しました。

Column 2

大盛況の被服販売！ 過去最高の売り上げ!!



去る、7月18日(土)、偕楽園ホームで出張お買い物会を開催しました。密にならないことやマスク着用、アルコール消毒を徹底、室内の換気などを行い、ご利用者もご家族と一緒に笑顔で買い物をされていました。

トップリレー



介護は必要な仕事



社会福祉法人一誠会
偕楽園ホーム 副施設長
鷹野賢一

新型コロナウイルスの感染拡大が要因で東京都内の中小企業では、倒産件数が4月以降、深刻な状況にあると言われています。職を失う方も多くいる中で、医療や介護の仕事は、感染との危険と隣合わせの中であっても利用者の生活を守るという点においては、極めて必要な仕事であることは間違いありません。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言時にはデイサービス利用者が増え、外出頻度や身体活動が大きく低下し、コロナフ

レイルが心配視されました。初音の社のデイサービスでは、ご利用者の在宅生活の継続を支援できるように受け入れの体制を整え、利用に対しての働きかけをしてきました。コロナ禍において、感染の予防と並行し、高齢者の介護予防にも力を注いでできました。このように、仕事をする中で自らが厳しいという中、社会の中で貢献できることに対し、改めて仕事ができる喜びと介護に対しての誇りをもつて取り組むたいと感じました。

Contents

02 特集

コロナ禍でも地域との交流、レクリエーションなどを再開!

03 速報 利用者の生活に潤いを
納涼祭の開催

04 トップリレー

社会福祉法人一誠会
偕楽園ホーム 副施設長
鷹野賢一

05 from 高齢者あんしん相談センター大和田

05 Column ①・②

偕楽園ホーム

06 from 特別養護老人ホーム

07 from 居宅介護支援事業所

初音の社

08 from デイサービス

09 from グループホーム

第二偕楽園ホーム

10 from 地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所

11 from 看護小規模多機能型
居宅介護事業所

12 from 企業主導型保育所 かいらくえん

13 地域活動/苦情の窓/ロコの部屋

14 ご寄付・ボランティアの紹介
私のボランティア活動
管理栄養士のお食事レシピ

15 介護の相談箱「ダブルケアとは」
編集後記

16 職員紹介～注目の人～
イベントスケジュール
一誠会からのお知らせ

発行/社会福祉法人一誠会
〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地
TEL: (偕楽園ホーム)042-691-2830
(初音の社)042-691-8289
(第二偕楽園ホーム)042-691-0913
(高齢者あんしん相談センター大和田)042-649-3280

特定事業所加算を算定する要件は図の通りです

特定事業所加算

- 1. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 2. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 3. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 4. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 5. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 6. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 7. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 8. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 9. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。
- 10. 介護職員等特定処遇改善増進法に基づき、介護職員処遇改善増進費を算定していること。

定期的なコミュニケーションによる支援の質の向上

居宅介護支援事業所では、週1回の頻度で、利用者の

制度の中で求められる質の向上

情報や留意事項などの伝達を目的とした会議を定期的で開催しています。

この会議の開催は、特定事業所加算算定要件の一つとなっており、今後進む高齢化によって重度者や困難ケースの受け入れなどが求められます。

また、この会議はケアマネジメント技術の高度化に応じるために、主任介護支援専門員を中心に、支援の方法や考え方などが共有され、介護支援専門員のスキルの向上にもつながります。

内部で決める情報を共有する仕組み

また、一誠会では、ISO

ケアマネジャーは一人で行う仕事という性質上、一人では抱えきれない業務内容の共有は必須です



9001の認証を取得していますが、規格要求事項の一つに、内部のコミュニケーションの必要性が求められています。会議はそのコミュニケーションの大事なツールであり、情報の共有には欠かせません。このような形で、内部の決まりと制度の中で求められているコミュニケーションによって、支援の質の維持につながっています。

盂蘭盆会を開催。今は亡き人を偲び、また新たな気持ちで日々を過ごす。お盆を迎え、慰霊祭をはじめ、迎え火、送り火などお盆の行事が行われました。



例年より間隔を大きく取り、マスクを着用していただいた際の慰霊祭となりました

お盆を迎えた去る7月14日（火）、借楽園ホーム1階ロビーにて慰霊祭が開かれ、一誠会をご利用され、亡くなられた28名の方の新盆の供養が行われました。

「お盆」は元来「盂蘭盆会」という仏教行事で、現在では「今は亡き人が帰って来て一緒に過ごす」という風習となつています。



無量寺のご住職も読経後はマスクを着用で講話に臨まれました

全国的にはお盆は8月中旬頃の印象がありますが、明治以降、東京などの都市部では新盆で行われ、借楽園ホームでも7月にお盆を行います。慰霊祭では新型コロナウイルスへの対応もあり例年よりも少人数となりましたが、ご遺族とご利用者に参列いただきました。

また例年通り、借楽園ホームのホーム墓地がある無量寺のご住職による読経と講話もいただきました。

13日の迎え火から16日の送り火までの間、借楽園ホームで一緒に過ごした方々を身近に感じつつ思いを馳せました。亡き人を偲ぶことは、自らを省みることであり、職員にとって自らの介護を省みる機会になるお盆でした。

【借楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護】利用者募集中!

1カ月のたり定額で利用できるサービスです。介護職や看護師などによる定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活できることを支援するために必要なサービスを提供します。

- ◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和、川口、中野まで伺います
- ◎対象となる方：要介護1以上

社会福祉法人一誠会 借楽園ホーム
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、村山

ご利用料金（1カ月単位の定額制です）
定期巡回・訪問介護費（1割負担の場合）

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護1	92,009円	6,261円
要介護2	111,759円	11,176円
要介護3	135,562円	18,557円
要介護4	234,724円	23,473円
要介護5	233,874円	28,388円

※自己負担割合は、所得に応じて1～3割と異なります。

グループホームにおけるサービス・ケアの紹介

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。
ここでは、初音の杜グループホーム（以下GH）が行っている取り組みを紹介します。

年齢、性別を問わず「いつまでも自分らしく」その支援を...



ご利用者本人は言うまでもありませんが、終末を前に苦しい

ご利用者、ご家族のために。そして...

看取り介護とは
GHでは「看取り介護」を提供しています。
看取り介護は、「近い将来、死が避けられないとされた人に対し、身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するとともに、人生の最期まで尊厳ある生活を支援すること」と定義されています。

東京スカイツリーに外出した際のママ。ご利用者のみならず、職員の実顔もまぶしい一枚です



のはご家族も同様です。日々衰えゆくご利用者を目の当たりにし、複雑かつ深刻な心情を抱えるご家族を理解し、寄り添い、サポートすることも看取り介護においては重要です。
加えて、ご利用者や家族をケアする職員の存在も忘れてはなりません。「これで良かったのだろうか？」とバーンアウトする

柳は緑、花は紅、真面目（しんめんもく）



職員も存在します。そこで当GHでは看取り介護の後、デスカレンス（デスカレンスとは、看取り介護を振り返り、単に結果の善し悪しだけでなく、ケアのプロセスから今後にかけるケアの方法や視点を見出すことを目的に開催します。）
「ただ辛い」だけではない。一人の人間の命、尊厳を支えるためには、その周囲の人間への配慮も忘れてはならない。看取り介護はそんなことも教えてくれます。

幅広く一誠会の広報活動を



Twitterは、今していること、感じたことを「つぶやき」のような形式で短い文章にして投稿します

一誠会では、広報活動として紙媒体では、パンフレットや広報誌、ウェブ媒体としてはホームページをはじめ、ブログやフェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどSNSも行っています。現在、日本国内においては、スマートフォンなどを使用する割合も高くなっており、デイサービスでは、あらゆる年代の方々へPR活動ができるように、7月よりツイッターを始めました。


積極的な情報発信とPR活動



ブログの発信はアメーバブログを日替わりで毎日更新中です



広報誌のGreen Daysでは、身近な地域の方々への情報を伝えるものとして活用しています

広 報活動の目的を考えたとき、情報発信をするという意味合いでは社会に対して知らせるという意味を持つ広報と、企業や団体に必要となる資源を集めるために行うPR活動が重要とされています。
利用を考えている顧客に利用したくなるきっかけになることや、働きたいと思う人を発掘すること、さらには一誠会のことを知って理解してもらうことで、地域から応援してもらえるようになるなどPRの意味があるといえます。
一誠会では、PRを意識しながら、それぞれの媒体を活用して理解が高まることを目指します。
デイサービスの活動のつぶやきを是非ご覧ください。


今年も開催！ 看多機納涼祭



我先にと、流れてくるソーメンをキャッチしています



たくさんの食べ物をいただきました。食べきれますか？



周りの声援に応えるように、スイカめがけて「エイヤー」

看護小規模多機能型居宅介護では、サービス付き高齢者向け住宅のご入居者もお招きし、納涼祭を開催しました。

地域で恒例となっていた、夏祭りや花火大会などが各地で中止になる中、少しでも日本の伝統文化である『お祭り』の雰囲気を感じていただければと企画しました。

夏の代名詞といえば、お祭り、屋台

午前の部では流しそうめ

んや、屋台形式にてフランクフルト、たこ焼き、かき氷などを召し上がっていただきました。

特に流しそうめんでは「はじめてやりました。面白い」とのお声もいただき、皆様そろってお箸を持つやいなや、竹を流れてくるそうめんに集中されていたことが印象的でした。

季節や伝統文化を感じていただくために

午後の部ではスイカ割り、輪投げ、

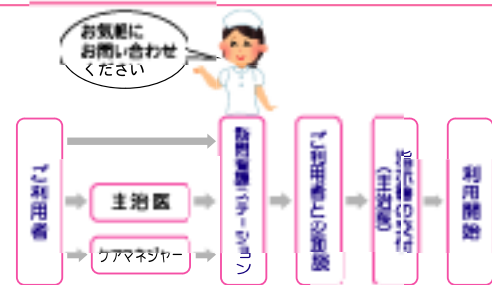
ヨーヨー釣りを楽しんでいただきました。フロアはとて賑やかな雰囲気にも包まれ、特にスイカ割りでは皆様大変力をこめて棒を振り下ろされ、周りの方も声を掛け応援されるなど大変盛り上がりしました。

今後ご利用者の皆様には、季節感や伝統的な行事・風習を、時には過去の記憶と重ねながら、いつまでも楽しんでいただけるよう、様々な行事を開催していきます。

【訪問看護ステーション】利用者募集中！

看護師がご自宅に訪問し、定期的なバイタルチェックや医療的ケアの床ずれ予防、処置、在宅酸素の管理、ターミナルケアなどを行い、安心して自宅で過ごしていただけるように支援するサービスです。

社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1866 FAX 042-691-1870 担当：山口



グリーンデイ あなたも参加してみませんか？



寄せ植えは毎月メンテナンスしていただく必要があります

種をまくと花が咲く。あたりまえだけどこの当たり前がなかなか難しい。だからこそ、時と場所を整えることを目的にグリーンデイを開催します。
【日時】毎月第1木・7時～9時
【場所】第二偕楽園ホーム 建物外回り
【集合場所】玄関前
【参加費用】無料
【参加資格】利用者、職員、地域の方々でみどりを愛する人
【活動内容】寄せ植えの植え替え、草むしり、種まき。



荒れた土を耕して、ガラを取り除き花壇をつくりました

見に来るだけでも、どんな花を咲かせたいとかこんな庭にしたいとか提案だけでもかまいません。種とか苗とか肥料とか植栽に関する諸々のグッズのご寄付を頂けるとありがたいです。
2年前に第二偕楽園ホームを立ち上げて、草むらで手が出せなかつた領域を、ボランティアさんのお力を借りて少しずつ整備してきました。
活動される皆さんの思いが一つの景色になっていく。あなたもそんな取り組みに参加してみませんか？

短期入所 生活介護事業所

役割があると人は元気になる

役割をもって生活すると、皆、目が輝き、心も体も元気になります。ショートステイをご利用のとてもお元気なSS様は、食事のワゴンの上げ下ろしなどに大活躍。
役割をもって生活する日常を大事にしたいと考えています。



いつもありがとうございます

ISO9001 認証取得の保育所として 安心安全なプール遊びを徹底

水遊びでは感覚遊びや季節の移り変わりを感じます



監視員は黄色いゼッケンを着て子ども達の安心安全を守ります



近隣の畑から頂いた「里芋の葉」を使用した「水遊び」が子ども達には大人気です



水の感覚遊びを通して季節の遊びを経験し学んでいきます

身近な自然とプール遊び

自分の背より大きい「里芋の葉」を大切そうに持ち帰り水遊びがスタート。里芋の葉の上をコロコロコロと転がる水の球を楽しそうに子ども達は見つめています。

水遊びでの事故ゼロのために

かいらくえんでは長梅雨をあけた8月より水遊び・

プール遊びを開始しました。

2017年8月24日に私立認可保育所でプールによる事後が起きました。これはプールの滑り台を片づけていた間に子ども達から目を離れたことが原因です。

かいらくえんでは「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」に基づき「プールの監視を行う者」と「プール指導を行う者」に分かれて配置し役割

分担を明確化しています。

また、品質の国際規格であるISO9001の認証している保育所として水遊びの要領や手順を作成し周知しています。例えば感染症を防ぐために、プールの消毒液濃度を1ppmに保つことや子ども達の発達過程に即してプールの水容を5cmや10cmと使い分けています。

これからも安全管理なプール遊びに努めてまいります。



園児募集中♡0歳から2歳

介護・医療従事者の変動的な勤務体系にも対応し、土曜保育(要相談)、1日4~5時間、週2~3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。

産休明け~満1歳未満	8:30~16:00	*保護者の勤務時間による
満1歳以上	7:30~18:30	
アレルギー・障害児保育: 要相談 超過保育 18:30~20:30: 要相談 (別途料金がかかります)		

お問い合わせ
社会福祉法人一誠会 企業主導型保育所かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目16番地
TEL 042-691-1866 メール: hoiku@kairakuenhome.or.jp

地域交流会再開



去る8月8日(土)、新型コロナウイルス感染症予防により開催を自粛していた地域交流会を再開しました。会場では、ソーシャルディスタンスを保つように、座席の配置には距離をおき、カンファ水による会場内の消毒、室内の換気はもちろん、来場者の皆様にはマスクの着用をお願いして参加いただきました。

今回は、電話などで事前に申し込みたいいただいた方のみでの参加でしたが、鷹野副施設長による「看取り介護」をテーマにした講演に14名の地域の方々ご参加いただきました。



講師はマウスシールドを着用し講演をしました

苦情の窓 「借楽園ホーム」

撮影に関する説明不足から起った苦情

施設内にて新型コロナウイルス感染症対策に関する撮影がありました。ご利用者にも写真の撮影に協力していただく場面がありました。急に撮影したことで「不快に思った」との訴えがありました。

ご本人からは、「撮影スタッフや周りに職員が4人も居たのに何の説明もされず、いきなり写真を撮られてね。」「私もスッピンで用意が無い訳ではないのよ。少しは何の撮影なのか言ってくれなかった。私だから怒らないけど」とのお話があり、その場に居た職員が謝罪させていただきました。

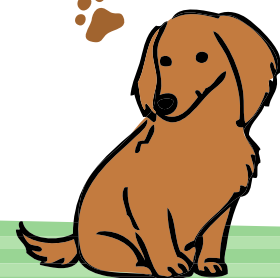
取材で写真や動画を撮影する際はご利用者に十分な説明を行い、同意を受けてから行うこと。責任者はフロア職員へも当日のスケジュールなどの説明を行うことを周知することで改善を図ります。

ご意見
お待ちしております。



ロコと楽しい仲間たち

ロコの部屋



シーちゃんクーちゃんの部屋

借楽園ホームに新しく仲間が増えました。ウーパールーパーことメキシコサラマンダーのシーちゃん(写真上)クーちゃん(写真下)です。

まだ小さいので、おたまじゃくしに手足が生えた感じですが、エラが左右に3本つつありますね。正面から見ると愛くるしいお顔をされています。

ニコッと今日も利用者さんに笑顔を届けています。



発行：社会福祉法人一誠会
発行日：2020年9月15日
発行人：鈴木康之
編集人：廣野賢一
住所：東京都八王子市宮下町983番地

編集後記

今月初旬まで予定されていた東京オリンピック・パラリンピックは、国内外で感染拡大が収束する見通しが立たないなか、1年延期が決定されました。来年の開催にも一部、疑問の声が上がっていますが、98年長野パラリンピックメダリストのマセソン美季氏は「パラリンピックは“できないこと”ではなく、“どうすればできるようになるか”を考える癖を私につけてくれた。多少のことでは心は折れず、柔軟に生きる力も与えてくれた」と話されています。特集記事にあったように、このコロナ禍にあってもご利用者の生活を先月から徐々に戻せるよう様々な工夫をはじめています。今、福祉・介護業界に必要なのは、不確かな未来に向けてかじを切る力です。一誠会では、今こそ確かな職員個々の専門的な技術と適応力、そしてソウソウ(想像・創造)力を最大限に発揮し、組織全体でご利用者の暮らしを守っていかねばならないと思っています。

社会福祉法人一誠会 常務理事 水野敬生

介護の相談箱

ダブルケアとは



Q 「ダブルケア」という言葉を時折耳にしますが、どのような意味なのでしょう？

A ダブルケアとは、育児期にある者(または世帯)が親の介護も同時に担うことを指します。

平成28年の内閣府の調査によると、ダブルケアを行う者の人口は約25万人とされ、30~40歳代が多く、男女ともに全体の約8割を占めるとされています。

生産年齢人口は平成24年から8年連続で減少しており、ダブルケア人口の増加は大きな社会問題の一つといえます。

※ 広報委員会では、皆様から事業所や記事に関するご意見、ご質問をFAXかメールで募集しています。FAX 042-691-8288 メール: info@karakuenhome.or.jp

【サービス付き高齢者向け住宅 第二偕楽園ホーム】

入居者募集中

サービス付き高齢者向け住宅は、高齢者が安心して暮らせるよう配慮された住環境と安否確認・生活相談といったサービスが付いた住まいです。

詳細は、ホームページをご覧ください。下記お問い合わせまでご連絡ください。

【お問い合わせ】
社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL: 042-691-0913 FAX: 042-691-1870
担当: 菊池

月額費用：16万2540円/月 敷金、礼金は不要です。
(家賃6万円、共益費2万7540円、支援費2万7000円、食費4万8000円)

部屋数：12室(全室個室 各18.63㎡)
居室設備：ベッド、洗面、収納、エアコン、ナースコール、スプリンクラー
入居要件：60歳以上の高齢者、要介護認定を受けた60歳未満の方
介護サービスを受けられる場合には別途料金が発生します。

ボランティアのご紹介

- 石崎雄司 植田京子 江坂千恵子 柏木伸子 功
- 刀正芳 小室節子 斉藤和子 佐藤鷹志 塚谷真
- 奈美 東海林喜久子 濱口昌子 林陸太郎 福士
- 定明 三沢道子 宮下町会 望月明美 山崎倫子

敬称は省略させていただきます。

ご寄付のご紹介

- 河内春美 川田正義 金子美恵子 神崎忠 神崎
- 美和子 久保田洋子 源生康子 佐々木茂美 進
- 藤圭子 水野敬生

敬称は省略させていただきます。

私のボランティア活動

今回、ご紹介するのは、ハイモニカボランティアです。新型コロナウイルス感染症予防のため、一部活動の制限し、ボランティアさんの意向を確認し、再開をしています。活動にあたっては、歌を歌うような声を出すボランティアさん



活動の内容によっては、ボランティアの活動も受け付けています。お気軽にご相談ください。

んや傾聴など、ご利用者と密接になるものは自粛いたしていますが、ハイモニカボランティアの皆様には、職員お手製のフィルムにより、飛沫を防ぐ形で活動していただきました。

管理栄養士のお食事レシピ

フレイル予防

フレイルとは、心身の活動が低下した状態のことを言います。筋肉の減少により活動が低下して食欲もなくなりがちです。今回は、フレイル予防に大切な筋肉や骨を維持するのに必要なタンパク質とカルシウムがしっかり摂れる食事をご紹介します。



☆厚揚げと小松菜の炒め煮☆

<材料 2人分>

厚揚げ 150g、小松菜 180g、
しらす 25g、だし汁 60cc、
醤油 小さじ1杯、みりん 小さじ1杯、
ごま油 大さじ1杯、

<作り方>

- 鍋にごま油を入れ、しらす、小松菜を炒める。
- 1に油が回ったら厚揚げを入れ、軽く炒めてだし汁、醤油、みりんを入れ具材に味を染み込ませる。
- 汁が厚揚げに染み込んだら出来上がり。

